

第 21 回青梅市公共交通協議会議事要旨

日 時 平成 29 年 3 月 30 日（木）午前 15 時 00 分から午後 16 時 30 分まで

会 場 青梅市役所議会棟大会議室

出席委員 17 名

高橋会長、轟座長、清水委員、橋本委員、和田委員、中村委員、原口委員、秋山委員、原委員、高水委員、片渕委員、知久委員、伊藤委員、尾澤委員、大越委員、増田委員、佐々木委員

傍聴者数 3 名

配付資料 資料 1 基本計画推進状況について

資料 2 成木地区公共交通検討委員会報告書（案）

資料 3 平成 29 年度業務計画および予算案について

資料 4 各交通事業者のダイヤ改正について

青梅市公共交通ガイド（案）

議 事

1 開会

2 協議事項

(1) 基本計画推進状況について

○ 座長

「(1) 基本計画推進状況について」事務局から説明をお願いいたします。

○ 事務局

(資料 1 にて、基本計画推進状況について説明。)

○ 座長

有難うございます。4 つご報告いただきましたが、ご質問、ご意見ございますか。

○ 委員

3 の河辺下地区のバスの関係ですが、午前と午後の 1 時間ずつ、実際に現場に行って見えました。赤い部分の狭い箇所は、どうしても最後まで残っている状況でございます。ただ、様々な安全対策をこれからも行うということで、一度、西東京バスさんにもご協力いただいて、来月に実際に走るバスを利用して、ここは居住者以外通行禁止になっていますけども、通行許可証を出しますので、実際にバスを走らせたいと思います。その時に、我々警察も乗ります。関係者も乗っていただければと思います。狭いところも実際通ります。警察官をつけて交通整理をします。すれ違いの状況がどうなのか、そういったことを全部 1 つ 1 つ確認したいと思います。そうしないと、バス停なども決まっていけないと思いますので、来月以降に実走させるということで、今考えております。それによって、また様々な問題点が出てくると思います。また、走らせることによって、大丈夫だなということもあると思います。私も赤い箇所が気になっているのですが、ここは、かなり見通しがいいです。崖の上から降りてくる車が見えます。バスが、見えている状況で手前に停まっておけば、すれ違いに問題ないかと思います。ただ、実際のバスの大きさと通れば、問題あるかもしれません。数字では、幅員がどうこうなど、色々あるのですが、実際に走らせることが、一番の解決策だと

考えますので、来月以降にご協力いただいて、実際に走らせるということを考えております。

○ 座長

はい、ありがとうございます。積極的に走らせて、実態を見て、さらに必要であれば対策を講じてということで、ぜひ走らせることができる見込みでやっていただければと思っております。どうぞ、よろしく申し上げます。新路線について意見いただきましたが、何かございますか。どのくらい歩行者がいるのか、自転車があるのか、この辺がわからないので、そういうところをしっかりと見ていただきたいと思います。よろしく申し上げます。

サイクル&バスライドの個所の写真が4ページにあるのですが、ここのイメージがつかなかったのですが、これは前のページにあるような、区画を線で塗装をして、ラック等は無いという、そういったようなイメージでしょうか。

○ 事務局

今回計画しているサイクル&バスライドにつきましては、塗装はしないで、碎石を下に敷きまして、看板を設置します。それから、その中でうまく区切りがわかるような形の表示を行っていくという風に考えております。

○ 座長

わかりました。とりあえず先に進めることが重要だと思っておりますので、進めていただきたいと思っております。やはり自転車の利用者からすると、水たまり、そういうものは嫌がりますし、砂利も自転車だと走らせにくいというのがありますし、それからもう1つ、先ほどラックと言ったのですが、盗難を嫌がる人たちが結構いて、ラックがあっけりきと鎖のロックをかけたいというような、そういう要望もありますので、今回はこれで進めていただきたいのですが、追々そういうことも検討いただければと思っております。よろしく申し上げます。その他いかがでしょうか。

○ 委員

サイクル&バスライドの実施予定が29年度とありますが、具体的にはどのくらいの時期か、もしわかればお教えいただけますか。

○ 事務局

サイクル&バスライドにつきましては、29年度の予算を認めていただいたということでございます。29年度に入りまして、早々に整備を行います。それから、先ほど少し説明いたしましたが、地元自治会長、それから住民の方への周知と、広報による周知と、その後に開設していくという中で、概ね6月ぐらいを目標にしているところでございます。

○ 座長

積極的に利用をしていただきたいのですが、この空白地域だけではないところからもアクセスがある可能性もあるので、その辺のところもしっかりと、周りの住民の方々、こういったところも目配りをいただければと思っております。その他いかがでしょうか。

○ 委員

サイクル&バスライドの利用者につきましては、何か利用制限みたいなものをつけるのか。例えば、赤い点線以外にお住まいの方も利用できるのか。また、実証実験という形でしたので、その後、どの辺のエリアの住民の方が使われているのかというような調査をする計画があるのか。この3点、よろしく申し上げます。

○ 事務局

利用制限につきましては、今回の計画の中で、公共交通空白地域の改善策の1つとして考えているところで、点線でお示しした部分が公共交通空白地域ということでございますので、その人たちの改善を目的としたものでございますが、特段、利用制限はなく、誰が使っても構いません。ただし、基本的にはバスの利用者という形で考えてございます。

利用者の調査は、実証実験という中では、今後、利用状況の確認等を行っていく考えであります。その中では、どんな人が利用されているかといったところも調査して参りたいと考えております。

○ 座長

よろしいでしょうか。ありがとうございます。その他いかがでしょうか。

○ 委員

この地域というのは、この他にも似たような場合があると思うのですが、そういった要望、問合せをしていただいた場合は、ある程度、他へも出来るような状況を考えていただけるのか、教えていただけないでしょうか。

○ 事務局

公共交通空白地域につきましては、今、青梅市公共交通基本計画の中では、大きくは3か所に設定されております。サイクル&バスライドの取り組みにつきましても、今後、状況、場所等を考慮しながら、必要に応じて進めていくという考えでございます。

○ 座長

よろしいでしょうか。その他いかがでしょうか。他のところでも結構です。

1の広報に関しては、どのようにダイヤ改正になるかは、(4)の議題のところで、詳細が説明されるでしょうか。要望ですけど、書き方は、もう少し具体的に書いてもいいのかなと思います。2行目の「この春にダイヤ改正を予定している事業者もあります。」という、何となくフワッとした書き方なので、スペースの関係もあるのですが、もう少し具体的に書いてあった方が、読んだ人には、わかりやすいかなと思いますので、今後そういうことを書けるかどうかご検討いただけないでしょうか。

○ 事務局

広報の表現は、時期等の問題もございまして、どこまで具体的に書けるかということは、難しいところもございまして、内容については、今後検討することを考えていきます。

○ 座長

よろしく願います。よろしいでしょうか。

○ 委員

4)の公共交通ガイドの発行で、例年発行されているかと思うのですが、今回、住民の方と観光施設、あと行政のところだと思うのですが、市内に事業所をお持ちの会社などからいただきたいという要望が昨年度はあったりするのでしょうか。特にないですか。もしあれば、お答えいただけますか。あれば、どこに配布をするか検討していただきたいと思っております。

○ 事務局

今年度、特段、事業者の方から配布して欲しいと言っているような話はございませんでし

た。

○ 座長

色々なところで配布していただければ良いかなと思いますので、その辺もご検討いただければと思います。そのところで気になったのですが、HPに載るのはPDF版でしょうか。スマートフォン対応だと、PDFが見えにくい場合がありますので、場合によっては少し工夫がいるかなという気もしております。それから、今後のことですが、時刻表データ等は、最近のはやりですとオープンデータ化して、いわゆる検索の乗換案内ですね、会社名を挙げるとあれですが、駅探とかナビタイムとか、こういったところで提供をしていくというのもあると思います。事業者さんが、もしかしたら対応をされているかもしれないですが、オープンデータ化を、この協議会とか市とかで進めるというようなこともあると思います。そういうようなことも、今後検討いただければと思います。その他いかがでしょうか。

○ 委員

今の公共交通ガイドの配布ですが、自治会加入率が46%くらいですので、配布をしっかりやっていただければありがたいと思いますので、よろしくお願いします。

○ 座長

はい、ありがとうございます。その他いかがでしょうか。よろしければ、次の議題に進めさせていただきます。では、1の議題を終わらせて、「(2) 成木地区公共交通検討委員会の取り組みについて」事務局から説明をお願いいたします。

(2) 成木地区公共交通検討委員会の取り組みについて

○ 事務局

(資料2にて、成木地区公共交通検討委員会の取り組みについて説明)

○ 座長

ありがとうございます。大変厳しい状況で、この結果で良い解決策を導かないといけないという結論ではあるのですが、いかがでしょうか。ご意見、ご質問はございますか。

○ 委員

京王自動車の秋山でございます。15ページの利用者数の推移について、平成28年度は13名、平成24年度は41名だったというもので、この減になった28名の方というのは、どういう形で利用なさらなくなったのか。減便になって使い物にならなくなったから乗らないとかということもあろうかと思いますが、その辺はいかがでしょうか。

○ 事務局

一番大きな原因としては、検討委員会の中では、成木地区の人口が減ってきていて、特に生産年齢人口、要は通勤通学に使う方がかなり減ってきているということが実感としてあるという議論でございました。

○ 座長

3ページに減便の影響とありますが、これは平成26年の調査ですが、やはり減便によって使いにくいから、他へ移っていく方もかなりいるのだと思うのです。送迎等へ移行とかあると思うのですが、この数値を見る限りでは、41が13になる感じではないので、やはり人口の減少がかなり進んでいるのかなという感じはしております。先ほど言いましたように、

通勤通学の人口、利用者が減っている可能性は大きいと思っております。

致し方ないかなという結論だと、私は思っております。ただ、このまま推移をみていると、増々悲惨な状況になりかねないと思っております。今後どうしようかということが一番のメインです。先ほどご説明いただきましたけど、15ページの成木地区の公共交通検討委員会というのは、存続して利用促進等の活動をするということですが、具体的にこれからの方向、方針のようなもの、あるいは施策、お考え等がありましたらお聞かせ願いたいと思います。

○ 事務局

具体的な有効策ということに関しては、今後取り組んでいきます。やはり、皆さんに今の状況を理解していただいて、使ってもらわないと維持するのも難しいというところは、地元の方にもご説明していきます。さらに具体的な促進策は、今後検討していきます。

○ 座長

ぜひ、積極的に具体的なものを検討して、試行的でも構わないので、どんどん仕掛けていただきたいと思います。また、全国では、ここの地区と似たような状況の地区も結構ありますので、そういったところでどんなことをしているかということも含めて、新たな公共交通導入ということではなくて、積極的な利用促進に向けてだとか、何かそういったものがあれば調べていただいて、施策を講じていただければと思います。私も具体的に申し上げられないのですが、ぜひご検討いただければと思います。よろしくお願いいたします。

○ 委員

11ページの運行収支の試算ですが、先ほど話がありましたけど、前回41人で今回13人ということなのですが、この調査日が、前回は3月の終わりの暖かい時で、少なくなっている今回は真夏日なのですね。実際、乗っているのはお年寄りが多いと思いますので、8月末や9月初めは、乗らないのではないのかと思うのです。調査の分析が、この2、3日だけではなく年間を通して、多分データが残っているのではないかと思いますけど、もっと細かい利用状況のデータがあった方が良いのではないかと思ったのですが、どうでしょうか。

○ 事務局

調査日については、検討委員会でも、8月31日については夏休み中であるため、その他に9月15日にも行うということで、基本的には平日の通常の状態がとれるのではないかと途中で、日程を検討した上で行ったものであります。多少のばらつきはあるが、そんなに大きくは変わらないだろうというのが検討委員会の見解でありました。

○ 委員

相当、1年間では違うような気がします。

○ 事務局

人数が人数ですので、例えば5～6人まとめて、高水山に観光に来るとかということになれば、それだけで人数はかなり違ってくるのですが、やはり通常は、検討委員会の自治会長さんの実感としては、こんなものかもしれないという意見ではありました。調査結果についても今後検討していますが、その中では、そんな大きくは違わないのではないかとこの見解でした。

○ 委員

この調査より少し前になりますが、平成 27 年 11 月に、都営バス全体で調査員を乗せて乗降人数を数える調査をしております、その際は、18 人という数字が出ております。シルバーパスの方などは、運転手に見せるだけということで記録が残りませんので、システム的には人数が取れなくて、難しいところなのですが、一応そういったデータが残っております。

○ 座長

多少、確かに夏休み中ということで少なめになるかとは思いますが、それにしても 41 に対して 18 という数字だということかなと思います。データとしては、ご指摘のとおり、もう少ししっかり、本当はあった方がいいだろうとは思いますが、今やられているデータでの分析ということかなと思います。その他いかがですか。

○ 委員

人数の話について、3 ページにある減便による地域の影響、対応で、特に成木の 6 から 8 丁目は、3 割くらいの方が「送迎や同乗を頼むようになった」になっているので、バスが 3 ～ 4 割くらい減っている。それで、人口も減ったりすると大体半分ぐらい減るかなというのがあります。そういう意味では、これからどうするかということについて、送迎や同乗を頼むといった方々がおられて、そういった方々に、もう一回バスに戻ってもらうにはどうしたらいいとか、その辺が 26 年のアンケートを分析していただいて、今後どういったことが対応可能かということをご検討していただけると、どうしたらいいかというのが見えてくると思いますので、このアンケートのところをもう一回、次に向けて活用していただけるといいかなと思います。

○ 事務局

これから、成木地区でも検討委員会を存続して、利用促進策に取り組むという中で、参考とさせていただきたいと思います。

○ 座長

ありがとうございます。その他いかがでしょうか。長年に渡って、積極的に自治会等で検討いただいたわけですが、大変厳しいという結果だったということかと思っております。次は、この協議会でもありましたように、今後の推移を見ていただいて、出来る限りのことを我々もサポートしていきたいと思っております。

ありがとうございました。この議題は、以上とさせていただきます。では続いて、「(3) 平成 29 年度業務計画および予算案について」、事務局から報告させていただきたいと思っております。ここから、同席いただいている事務局の株式会社ライテックは、利害関係がありますので、一旦ご退席をお願いいたします。

(3) 平成 29 年度業務計画および予算案について

○ 事務局

(資料 3 にて、平成 29 年度業務計画および予算案について説明。)

○ 座長

はい、ありがとうございます。それでは、ご質問、ご意見いかがでしょうか。

来年度の 29 年度の計画、それに基づく予算額が組まれているのですが、これについては結構かと思うのですが、長期的なことをお伺いしたいのですが、我々が取り組んでいるこ

の施策は、24年度に取りまとめた基本計画に基づいて行われているわけですが、月日が経っておりますので、もう1回大きく見直した方が良いのではないのか。また、先ほどの成木地区もありますけど、状況も変わってきているし、全体的なことを見て、より事業の推進を図った方がいいかなと思いつつながら、ここ何回か会議に出ておるわけですけど、何かお考えがありましたら、お聞かせいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

○ 事務局

来年度の委託の中でも、青梅市の現状課題等を取りまとめることを予定しております。その中において、今回、成木地区の状況等ございますが、課題を整理して、必要であればそういった業務計画の変更等についても今後検討していく、そういうものに結び付けるための調査考えているところでございます。

○ 座長

まずは、この24年度に作った業務計画の評価をこの辺でしていただいて、もし見直すものがあれば見直しするというので、徐々に進めていただきたいと思っております。よろしくお願ひします。

○ 事務局

公共交通は、先ほど少しご指摘がありましたけれど、成木の方でも、引き続き利用促進や課題整理していくということがありました。逆に市としても、いわゆる生活者の足という観点だけではなく、例えば企業立地の促進であるとか、観光の促進であるとか、そういうことによつての利用者の確保ということも合わせて行うことによつて、バス事業者さんも経営を改善していく、何か1つの役に立てれば、そういう部分から公共交通の維持あるいは発展ということも考えられるということがあります。今、青梅市として観光戦略プロジェクトというのをやっております、西部だけでなく青梅市全体を、一年を通してお客様に来ていただけるような戦略を考えて、29年度は実証的な実験を行いながら、インバウンドを含めてですけど、そういう対応を行っております。そういうところで、いわゆる公共交通の利用、バスを利用して青梅をめぐる、そういう部分の取り組みとか、あるいは企業の誘致という点も考えておりますが、そういう意味では従業員のいわゆる足の確保とか、そういう観点も29年度中に色々検討していきますので、またそこで色々なことが出てくれば、公共交通計画についても反映しながら、新たな視点を入れるということも考えていく必要もあろうかと思ひますので、29年度の目標などを含めて長期的なシステムを今後検討していただければと考えております。

○ 座長

ありがとうございます。ご指摘いただいた通り、他の戦略、施策、こういったものと合わせて、今、地域公共交通もまちづくりと一体ということが大きく叫ばれていますので、企業誘致の話もありますし、インバウンドの話もありますので、ぜひ、そういった大きな議論も進めていただきたいと思ひます。

はい、その他いかがでしょうか。よろしければ、スケジュール、予算はお認めいただきたいと思ひます。もう1つ、皆様のご意見をいただきたいのが、次年度の委託業者に関してですが、何かご意見ございますか。

○ 委員

業務委託先については、青梅市公共交通基本計画策定から携わっていただき、青梅市の状況等をよく理解しておられ、また、これまでも当協議会の運営について適切な至言をいただいていることから、引き続き株式会社ライテックにお願いするのが適切だと考えます。

○ 座長

いかがでしょうか。ご意見ございますか。この地区のこと、あるいは、この地域での公共交通のこと、データ等、必要がありますので、引き続きお願いするということでもよろしいでしょうか。

○ 委員

(異議なし)

○ 座長

ありがとうございます。では、来年度もライテックにお願いしたいと思います。

その他いかがですか。よろしければ次の議題に移ります。それでは、協議事項(4)「各交通事業者のダイヤ改正について」です。事務局よりご説明をお願いします。

(4) 各交通事業者のダイヤ改正について

○ 事務局

(資料4にて、各交通事業者のダイヤ改正について説明。)

○ 座長

ありがとうございます。事業さんから、何か補足等ございますか。よろしいでしょうか。では、ご意見、ご質問等いただきたいのですが、いかがでしょうか。

○ 委員

このガイドは、3月作成で、配るのは4月ですか。

○ 事務局

ガイドについては、改訂された時刻表を載せて配布する予定です。

○ 座長

この件も、なかなか厳しい状況かなと思って見ておりますが、これも先ほどと絡むのですが、これまでのやり方を少し変えていかないと、今までが効果ないとは言わないですが、維持に効果はあったのかもしれないですけど、もう少し積極的に、違ったものをしていかないといけないかなと思いつつ聞いていたわけですが。例えば、今までモビリティ・マネジメントを市内全域でやっているのですが、こういう減ってきている地区を対象に、もっと積極的にやっているかという、そうでもないと思います。他のところにも利用者が減ってきているところがあれば、何かそういったことをしていかないと、同じことを繰り返してしまうかなと思っています。積極的にしていくことも、検討していただききたいと思っております。

その他いかがでしょうか。

○ 委員

今後の問題というか、例えば1日1、2便に減便になったところは、むしろバス路線を廃止してしまって、コミュニティバスのような形で、バス会社の経営補助を今まで通り大型バスを使ったのでは、かなり運行経費も掛かるでしょうから、コミバスみたいな形でバスを小型化して、運行も普通の路線バスではないような形をとって便数を増やした方が、1回に乗

れる人数が少なくても、利用が増えるかなという気がします。コミュニティバス発祥である武蔵野市が全国で最初にやったのですが、これは市街地のコミュニティバスですから青梅とは全然違うのですが、逆にバス路線のないところを回したのがコミバスなのです。今、はむらんとか、たちバスとか、はちバスとかありますが、当初の考え方はやはり、バス路線のないところを回したのが発祥で、100円で一乗りできる、お年寄りには日中暑かったら、バスの中で涼んでいて結構ですと、そういう発想で始まったのです。場所を含めても対象が違うのですが、1日1、2便で、全然バスが運行できないから、もうダイヤ改正になるよという事態があるのですよね。成木、小曾木地区は別としても、例えば、日の出町の方でもコミュニティにするとか聞いているのですが、そういう話を将来的に考えていくのも1つの手かなと思いますが、いかがでしょうか。

○ 事務局

コミバスについては、青梅市でも以前、検討した経緯がございます。青梅市については、市域も広くて、現状のバス路線の維持に相当な費用の負担もある中で、現行バス路線の維持を優先するという中で、コミバスの導入については見送るという結論を出したということがあります。コミバスの現状についても、実際に伺ってみると、なかなか厳しい状況でもございます。市としても、無制限の負担というものは難しいものですから、現行バスの維持、利用促進というところで進めております。

○ 委員

確かに、小さいエリアを決めてやるのは難しいと思います。ただ逆に言うと、人が少なくなって、だんだん利用が無くなったら、むしろ路線のところ、普通のコミバスは路線バスを回らないところを回すが、減便となってくると利用者がますます減るので、対処するのはマイカーしかないとなると困るので、今後の策の1つとして、全体をコミュニティバスとして回すのではなくて、路線バスに代わるような、そういう系統的なものはどうかという意見です。例えば、市がバスを1台買いまして、バス会社と契約して、運行してもらって、それで、バス会社を退職された、まだ元気な方に、そちらの運転をお願いして始まったのがコミバスなので、発想をもう少し色々検討するのもいいかなと思って、意見を出してみました。

○ 座長

ありがとうございます。ご意見は、1つの考え方として、そういう考え方もあるかなと思うところであります。なかなか難しいところもあって、路線バスとコミバスのどちらが、費用が掛かるかという、実は、コミバスにしたからといって費用が減るということは、全国的にも証明されていないのです。結局、小型化しても乗務員の費用は掛かりますし、便数を増やすということとはできないということもあります。むしろ、今、事業者が持っているバスを、色々なところを回した方が効率的ということもあるのです。ここは、難しいところでもあります。ただ、ご意見にありました通り、もう少し全体のネットワークを見直すということは、全国の動きとしてはあります。実は、5、6年前までは、空白地域をどうするかというところが国でも一番の主眼でしたが、今は変わっておりまして、街の中で公共交通は一体だということで、空白地域も含めて、全体のエリアのネットワークをどういう風に考えていくかということが、国の補助がそういう計画をしっかりと立てなさいと、地域公共交通網形成計画と言いますが、それを支援するのが国の方向に変わってきていますから、それには、

今ご意見いただいたような既存の路線をどうするかということ議論するということであり
ます。そういった意味では、今ご意見いただいたことも含めて、先ほど、私が大きく見直し
をという評価をして、もう1回考えても良いのではないかとしたのは、そこも念頭にあつ
たからなのです。来年度すぐというわけにはいかないですが、長期的に数年かけて検討いた
だきたいなど、私も思った次第です。

ただ、事業者さんに、まずは既存のものをしっかりと頑張ってください、我々もそれを
支援するというをして、そこが難しければ、市等でそれに代わる代替バスとかコミュニ
ティバスとかありますけど、そういったものを考えていくのが基本的な考え方だと思っ
ておりますが、どうしても、ネットワークが確かに複雑になっているので、これをもっとシンプ
ルにするということも含めて、全体を検討する必要はあるかなと思っております。

○ 委員

今の全体的にみるというお話なのですが、実際、今のバス路線というものを、通勤通学の
足としてみるか、または、例えば観光をまわるような、まちづくりとしてのバスか、お年寄
りが病院へ行くための、福祉としてみるバス利用か、みんな違うと思うのです。今この場で
は、どちらかという町場の足代わりとしてみているのですが、青梅市としては、バス路線
についてトータルで見る場所というのはあるのですか。

そうでないと、色々な見方があると思うので、例えば、御岳山の方へ観光で行くバス路線
も含めて、そういう話し合いはされているのかどうか。

○ 事務局

まちづくり経済部という部は、まちづくり推進課が地域的な開発、商工観光課が観光、梅
のある農林課も所管で、基本的には全体的な視点で、公共交通として、市のまちづくりの中
の1つの主眼として考えております。ただ、一番重要なのは、生活される皆さんの日々の足
の確保というのがあるかと思うので、そういう中で、他の観光の要素を取り入れるとか、企
業を入れて、従業員の移動を起こすことによって、交通需要を生み出すとか、そういうこと
も含めて全体的に考えていくというのが、今こちらでやっている公共交通政策ということに
なると思います。基本的には、住民の皆さんの足の確保が第一ではありますけど、それを色々
な事業を進めて行く中で相乗効果として、どういう風に公共交通の需要、あるいは利用促進
を図っていくかという観点でやっていっているとご理解いただきたい。

○ 委員

要は、足としてみるというと、乗らないから廃止ということになります。逆に、まちづく
りで、例えば観光地的にみると、そこに持っていくには、どうやって人を乗せるかっていう
風に考え方が変わるのですね。見方によって、バスに乗せようとなるか、乗らないからやめ
るかでは、全然違ってきます。そういった意味で、トータルで見る1つ組織があつての良
いかなと思ったのです。

○ 座長

ありがとうございます。先ほどもありましたけど、福祉だったり、観光だったり、別々の
セクションになっていますが、交通という面では、すべて一緒ですから、そういう面では、
この会議で全体を見ながら、まちづくりとも連携しながら、私も同意見で、もっと積極的に
引っ張ってくるということをしないと難しいと思っておりますので、これは観光だけではな

くて、自家用車を利用している人からも、公共交通を使ってもらわないと難しいかなと思っておりますので、そういった意味で、ぜひ、大きな方針というもの、全体を見渡すということが必要かと思っております。ただ、5年前の基本計画は、私から見ると、全体の路線バスに関してかなり踏み込んでいたのですね。当時は、先ほど言いましたけど、空白地域をどうするかということが全国では主眼だったのですが、むしろ先駆けて、路線バスに関してかなり踏み込んだ計画だったと思っております。そういった意味で、全体を見て、計画を立てたわけですけど、その後、国の動きの方が、今日は国交省の委員の方はご欠席ですが、法律が改正されて、全体の路線バスを含めて検討するようにと、法律が変わったのです。先にやっていたわけですけど、とは言いながらも、まだまだ踏み込みきれてないところがあるかなと思いますので、こういった議論も、もう一度しっかりしようかと思っております。

その他いかがでしょうか。

○ 委員

先ほど西東京バスさんからご説明いただいた、今回の運行系統の減回について確認ですが、経緯としては、いったん便数を増やしたが、特に乗客数が増えなかったのが元に戻ることでしょうか。それとも、全体的に、ずっと減ってきているということでしょうか。どんな状況か、大雑把で結構ですので教えていただきたい。

○ 委員

所管をしております青梅営業所の規模からいいますと、お客様はほぼいないという中で、バスをもっと増やして、始終発、朝晩を増やして、お客様にもっとご利用いただくというのが、おそらく5年前で、それをずっと続けていたのですが、それからお客様がどんどん減ってきているのが現状で、ここで心苦しいけど改正ということになりました。

○ 委員

全体で減ってきているということで、この沿線などで何か大きな減る要因があるとか、人口が減ってきているとか何かあるのですか。減ってきている理由が、もし分かればと思ったのですが、いかがでしょうか。

○ 事務局

データのなものが手元にございませんが、市の人口としては極端に減っているというわけではないですが、高齢化、生産人口、要するに通勤通学の方が減ってきているというのは、どこを見ても減っていることは減っており、この路線の地域についてどうなのかという分析はしておりませんので、明確な答えはできません。

○ 委員

今後、利用促進というのを図っていくときに、やっぱり具体的な年齢構成とかがどういう風になってきていて、バス利用者がどうなっているかということ、いったん把握していただいて、他のところでも減っていく可能性があるかと思っておりますので、今回、特にそういった現象があるということがわかっているのでしたら、そういった地域の状況とか、色々と調べていただいて、どういった施策が他地域に有効か考えていただけると、大変ありがたいと思いますので、よろしく願います。

○ 事務局

ただ今の意見、参考にさせていただいて、来年度、検討します。

○ 座長

やはり実態をしっかりと捉える、いわゆるP D C Aのチェックの問題ですけど、そこが重要ですので、どうして減ったのか、1つには大学が撤退されることが一番大きいと認識はしているのですが、それ以降も減っていると思いますので、その辺も含めてご検討いただければと思います。大学が無くなって、すぐに減る部分と、学生が徐々に移って、住んでいる場所を変えていく、こういうところもあるのかなと思っているのですが、原因はしっかりと究明して、それに対して適切な対応をしていただきたいと思いますし、プラスαでの施策を講じていただきたいと思います。

○ 委員

バスに乗る方が減ったというのは、青梅全線であるようです。私が答えていいのかわかりませんが、駅から2 km以上、3 kmくらい離れた人が、タクシーとバスに乗らなくなった理由というのが、駅前に1日停め放題で700円とか、900円という駐車場ができたことが結構響いているというのは聞きました。青梅の奥に行けば行くほど安くなってくるので、往復でバスを待っている時間などを考えると、そこに止めて700円の方が、いつでも帰ってこられるし、というのでそのおかげで青梅線沿いの停め放題の駐車場はいっぱいだそうです。

○ 座長

そういった情報は非常に重要なことで、公共交通と一般の自動車の施策をうまくリンクさせないと、公共交通の利用者の減少というのは歯止めがかからないと思っていますし、私は車いじめと言うのですが、車の方が便利に決まっていますから、車をいじめないと、公共交通の維持、あるいは公共交通の利用者を増やすというのは、なかなか難しいと思っています。ありがとうございました。貴重な情報でした。その他いかがでしょうか。

○ 委員

ダイヤの改正について、電車を降りた後のバスの乗り継ぎ、急いで降りてきたのにバスが発車してしまうので、これは青梅駅の場合のバスとの乗り継ぎの話なのですが、今回は終えてしまったのでしょうか。ぜひJRさんの方と連携するような形で改正していただけると、バスに乗る人が増えるのではないかと思いますので、よろしくお願いします。

○ 座長

都営バスさんは、JRのダイヤ改正に合わせているということで、返答いただいたのだと思います。なかなか、車両の取り回し等で難しい部分もあるかと思いますが、その部分をご配慮いただきたいと思います。その他いかがでしょうか。やはり、先ほどの成木地区もそうですけど、なかなか厳しい状況であるということを、改めて認識をしたところですので、もう少し積極的に、大きく何かできることはないか、こういった検討をしていきたいと思っています。また、事業者の皆さん、市の皆さんと、手を携えていかないといけないと思っていますので、皆さんのご協力をよろしくお願いします。

それでは、協議事項は、用意していただいた4つまでは、すべて終わりましたが、皆さんの中から、何かご意見、ご提案ございますか。

○ 事務局

1点ご報告を申し上げます。現在、今まさに工事中ということなのですが、東京都交通局さんの方で市役所西側のバス停に屋根を設置していただいたこと、また今年度長渕7丁目の

バス停にも屋根を設置していただいたことについて、ご報告させていただきます。

○ 座長

サービス向上に向けて改善もしているということを、市民の皆さんにPRをしていただければと思います。その他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、予定されていたすべての議題等が終了しましたので、議長の任を解かせていただきます。熱心なご協議、ありがとうございました。

3 閉会